



**KOFU21**  
Chartered 1990

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21**

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL.055-235-8543  
FAX055-235-8653

国際会長主題      Talk less, Do more  
アジア会長主題      Start Future Now  
東日本区理事主題      誇りと喜びを持って  
あずさ部長主題      スピードを持って前に進もう  
甲府21会長      参加しよう

2015  
5月号

★今月の聖句★

そのとき

歩けなかった人が鹿のように躍りあがる。  
口の利けなかった人が喜び歌う。  
荒れ野に水が湧きいで  
荒れ地に川が流れる。

イザヤ書 35 章 6 節

野々垣 健五 選

2015年5月例会

日時 2015年5月12日(火) 19:00 ~  
会場 山梨YMCAセンター  
司会 山縣 譲治メン  
開会点鐘 葉袋 勝会長  
ワイズソング  
ワイズの信条  
会員一言 野々垣 健五メン  
会長挨拶 葉袋 勝会長  
ハッピーバースデー  
ワイズディナー  
卓話 寺田 喜長メン  
諸報告  
YMCAの歌  
閉会点鐘 葉袋 勝会長

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう』

『義務はすべての権利に伴う』

『To acknowledge the duty』

『That accompanies every right』

5月の誕生者

メン 該当なし  
メネット 該当なし

4月のデータ (在籍数19名)

4月例会出席者数	16名
4月第二例会出席者数	8名
出席率 16/19	84.21%
ニコニコ募金	9,850円
ニコニコ募金累計	95,998円

●●●● 今後の予定 ●●●●

- 5月15日(金) 第4回チャリティーラン常任実行委員会 YMCAセンター 18時~
- 5月19日(火) 第2例会 YMCAセンター ~若奴食堂 18時30分~
- 6月 2日(火) 例会 YMCAセンター 19時~
- 6月 6日(土) 第18回東日本区大会 厚木市文化会館 12時45分~

## 5 月 会 長 挨拶

薬袋 勝会長

4 月は、地方選挙でにぎやかでした。皆さんの選択は、いかがでしたか？

多くの候補者の公約に少子高齢化による人口減少対策として、地域活性化を公約に掲げていた事をご記憶の方が多いのではないのでしょうか？私自身、調理師学校などで公衆衛生学の講義をしている関係上人口問題には、大変関心を持っております。

少子化による人口減少は、先進国では社会問題化しており、フランスは積極的な対策をした結果、人口減少に歯止めがかかっております。しかしこの対策には、移民政策がかかわっており、民族・宗教問題を抱える原因になっていると言われております。この様に少子高齢化対策は、簡単に解決することは困難であり、もしこの選挙で、一地域が公約によって低年齢層を吸収して解決したならば、移動された地域はますます高齢化をしてしまい、全体的に見たら何の解決にもなってはいません。

原因となっている年齢分布のひずみ（人口ピラミッドとしてご存じと思いますが）を解消するためには、少なくとも 20 年はかかると言われており、すぐには間に合いません。それよりも、健康で働き甲斐のある高齢者社会を実現した方が早いと思われまます。

この高齢化は、ご存知のように私達クラブにも押し寄せておりますが、年齢構成を気にせず活動していく方が良いかもしれません。

## 4 月 例 会 報 告

松村 豪夫

と き 4月7日(火)19:00

と ころ YMCA2 階

出席者 相川、稲垣、鎌田、輿水、佐藤、清藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、松村(禎)、松村(豪)、薬袋、山縣

以上 16 名

中島メンが本日「一言」話す予定でしたが体調を崩し欠席しました。

ワイズディナーの後、茅野メンから商工会経営指導員時代の興味深い卓話がありました。

・1999 年 5 月 4 日 NHK の番組で放送されたエンデの遺

言「根源からお金を問う」の反響は予想以上のものでした。ミヒヤエル・エンデ（1929—1995）はドイツの児童作家、ファンタジー作品「モモ」の作者です。

・「モモ」の内容

\*ある街の貧しく豊かに暮らす人々の前に「灰色の男たち」があらわれ「時間貯蓄銀行」に時間を預ければ利子が利子を生んで人生の何十倍もの時間を持つことが出来ると言う。



人々は働いても働いても、豊かにならない。そこに、自分自身を取り戻せる不思議な力を持ったモモという女の子が現れ時間の本当の意味、ゆとりの大切さを強く訴える。\*

重要な指摘はお金が利子を生むこ

とを至上主義としていることへの批判。

貨幣(お金)が本来の機能から外れている。

・エンデの指摘した問題点の対応

通貨の利子を排除する新しい地域交換制度が、地域通貨、自由通貨、交換リング等、マネーの暴力から地域



を守る防衛手段として世界各地で産み出された。高根町（現北杜市）に、法定通貨としての円を使わない流通機能を持った地域通貨「福」が産まれた。

これは互いに助けられ支え合うサービスや行為を時間や点数、地域のグループ独自の”紙幣“等に置き換え、これを「通貨」として財やサービスと交換するシステムです。これを「愛と信頼のシンボル通貨」とよんだ経済学者がおり、「相互の信頼関係」で成立します。

## ・基本目的

1. 法定通貨としての円と切り離して考えられる。
2. コミュニケーションの場を造る。

単位 「福」 1福1円

通帳 「八ヶ岳大福帳」 1家族1通

現在のメンバー 150 世帯 600 名

月1回 縁日を開く

地域通貨「福」がコミュニティーを活性化する道具としてうまく機能している好例を紹介して頂きました。諸報告では次年度役員、委員案が示されました。

## 会 員 ペ ン リ レ ー

— オレオレ病 —

古屋 秀樹

「会員ペンリレー」は、私がブリテン担当者の時、原稿集めに四苦八苦していた 2009 年の初め頃に思いつき、その 4 月から開始したもので、もう 6 年も継続していることとなります。記念すべき第 1 回目は、チャーター会長の功刀先生に担当していただきました。そして、第二回目からは五十音順の後ろから順番で書いていただきました。これにより、諸事情で掲載のない月もありましたが、ほとんど毎月、ワイズの誰かの自由な文章を読む機会を得てまいりました。私は今回で 4 回目となりますが、皆さんも 3 回か 4 回は書かれていることでしょうか。さて、改めて考えてみますと、このペンリレーは、テーマが自由ということもあって、書き手が日頃考えていることや、その価値観、思想が自然と表れるという点で面白い企画であったと思います。日頃の例会などのお付き合いだけでは知ることのできないメンバーの隠された姿や本音を知ることができるなかなか良い企画だったと思っています。例を挙げますと、功刀先生や相川さんの味わいのある旅日記、誰もが気になるヴァンフォーレの様子を毎回伝えてくれる輿水さん、アウトドア派の駒田さん、自他共に認める徘徊壮年の葉袋さん、豊富な読書から様々論じる中島さん、意外に政治的なネタが好きな茅野さんと松村禎夫さん、などなど、これらは一部ですが、毎回、書き手の個性が滲み出た文章は、当クラブのブリテンの一つの目玉となっていると言っても過言ではないでしょう。企画を提案して開始したのはこの私ですので、これではまるで自画自賛のようになってしまいました。さて、ここまでは前置きです。長い前置きになって恐縮ですが、その理由は原稿提出が遅れている中で、稲垣さんに 2,000 字程度をお願いされているためです。

これは言い訳です。

さて、ここからが本題です。そうです、話は繋がって、「自画自賛」の話になります。というのは、最近、自分としては「自画自賛」のつもりはないけれど、他人から自画自賛していると言われたこと、あるいは、そのように受け止められていることがあったからなのです。実は、ここ 1 年くらい、妻から「また、オレオレ病が始まった」と言って、たしなめられることが多くなりました。「オレオレ病」と妻が名付けているのは、もちろん「詐欺」の話ではありません。「オレオレ病」の症状は、「オレが〇〇した」「オレが〇〇してやる」「オレは〇〇と思う」などとの発言が多い、つまり、自慢話が多い、説教が多い、自己主張が強い、他人の意見を良く聞かない、威張っているというものです。

この病気は成人男性、それも 40 歳代以上の男性の発症率の高い、よくある病気ではありますが、私自身は自分にはあんまり関係ないものと思っていました。しかし、妻に言わせると私はそれを患っていて、それも重症だということです。どうやら、その病気の診断での専門医を自認している妻が自信を持ってそう言っているのです。「そんなことあるものか」と、これまでは一笑に付してきたのですが、ところが、つい 2・3 日前、私にとっては大切な存在のある人物から、表現は違いますが、同じ意味のことを指摘されたのでした。「えっ？」と思いました。妻の言っている「オレオレ病」の症状は他人にも判るほど進んでいるのか？とびっくりしてしまいました。正直、少しショックを受けてしまいました。どこが「オレオレ病」なのだろうか？どうして「オレオレ病」になってしまったのだろうか？考えてみました。顧みてみました。

人の一生には単純に言って順調な時と逆境の時、つまり波があります。その波は人それぞれ違います。最初から最後まで順調な人もいるかもしれませんが、また、一生逆境ばかりの人もいるかもしれません。こればかりは千差万別です。そして、順調の時、逆境の時、それぞれに人が陥りやすい罠があります。そして順調の時に陥りやすいのが「オレオレ病」なのです。人は、「うまくいっている時」に「思い上がり」や「傲慢」に陥りやすいものです。ちょっとばかり自信が付くとそこに思い上がりが生まれるのです。私もここ 2、3 年、どちらかというと順調な日々を過ごして来ていると言ってよいと思います。そこに、悪魔が忍び寄ってきたのでした。悪魔は人の罪の糸口となる弱さをけって見逃さないのです。

